



MS313 - 58007・MS313 - 58008 リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はアルファード・ヴェルファイア用TRDリヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。本書は上記TRDリヤバンパースポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合一覧表

品番	塗装色	備考
MS313-58007-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	アルファード X・G '15.01~
MS313-58007-A1	ラグジュアリーホワイトパールクリスタルシャインガラスレーク (086)	
MS313-58007-C0	ブラック (202)	
MS313-58007-C2	パールブラッククリスタルシャインガラスレーク (222)	ヴェルファイア X・V '15.01~
MS313-58008-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

* 本商品は純正マフラー装着車専用となります。
ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。
構成部品一覧表

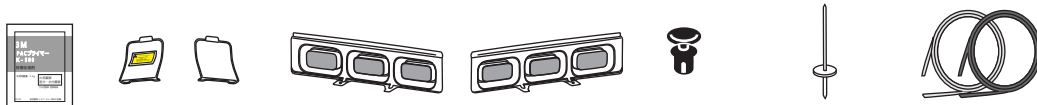
品名	品番	個数	備考
リヤバンパースポイラー		1	
グロメット		5	
タッピングスクリュー		5	6 × 16
クリップ A		4	4用
樹脂ワッシャー		2	t = 6.0
ブラックアウトフィルム		1	
クリップ B		1	10用
金属ワッシャー		1	t = 1.5
テールパイプエクステンション		1	
ホースバンド		1	
型紙		1	
取付・取扱要領書		1	本書
テールパイプエクステンション 注意文		1	

以下、MS313-58008-NP (未塗装品セット) のみに同梱

品名	品番	個数	備考
PACプライマー		1	K - 500
牽引フックカバー R/L		各1	
ガーニッシュ R/L		各1	
クリップ A		4	4用
リベット		4	黒色
モール		(各1)	黒/グレー L = 3550mm






以下、MS313-58008-NP(未塗装品セット)のみに同梱



取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所での作業や、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、各タッピングスクリューが緩む恐れがあるので、数キロ走行後には必ず増締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット（MS313-58008-NP）は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。塗装後の乾燥時、乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両へのリヤバンパースポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

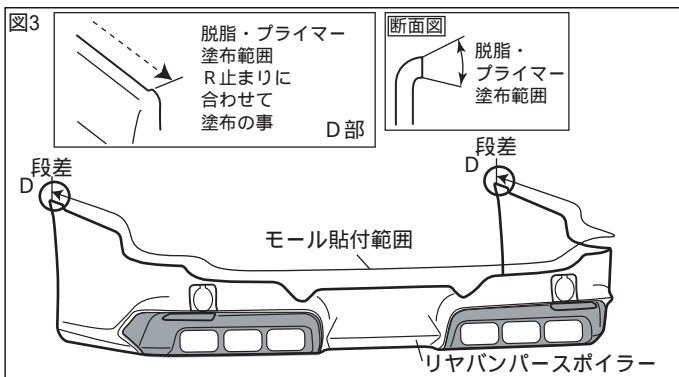
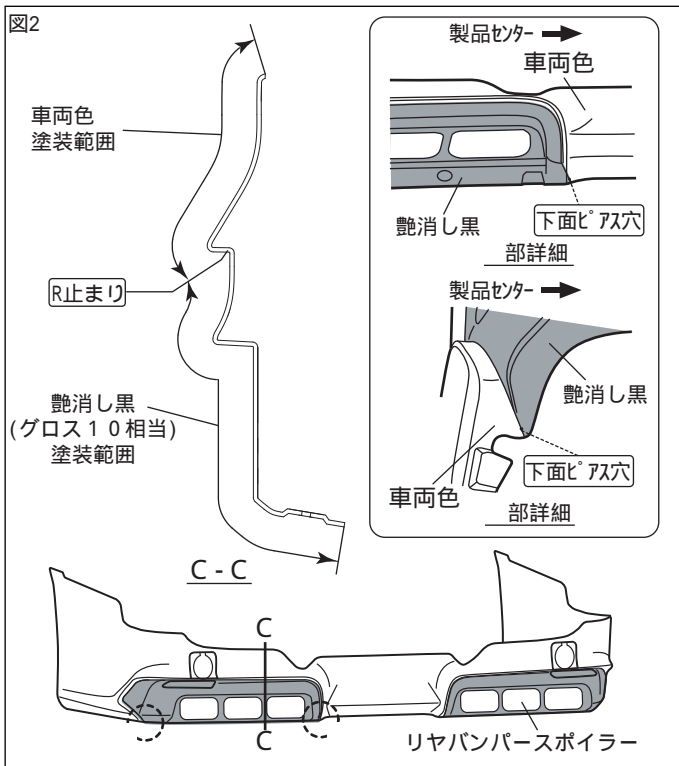
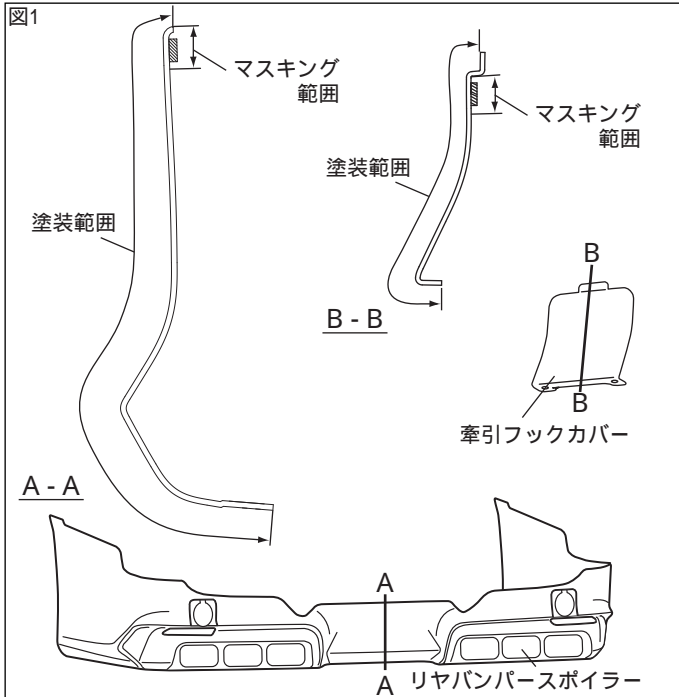
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS313-58008-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



リアバンパースポイラーの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図1のようにリアバンパースポイラー 及び牽引フックカバー を車両色に塗装する。
2. 図2のようにリアバンパースポイラー にマスキングし、艶消し黒(グロス10相当)で塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下IPAという)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付け面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

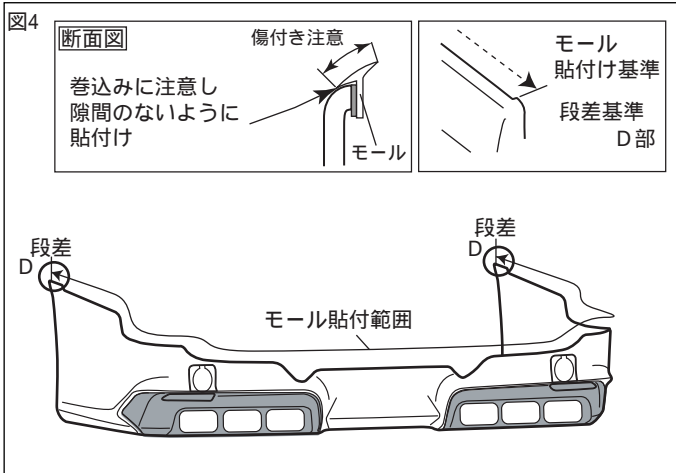
⚠注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

モールの貼付け

1. 図3のようにモール 貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残し、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

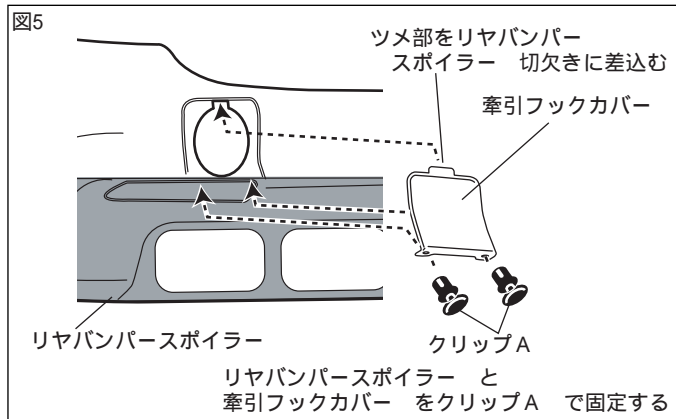
👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



2. 図4のようにリヤバンパースポイラー に、モールの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。
 { 49 N (5 k g f) 以上 }
 モール は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切落とす。

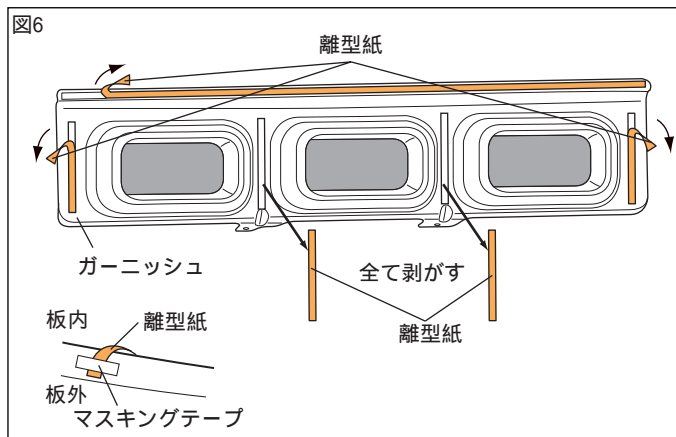
△注意：モール は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。



牽引フックカバーの取付け

1. 図5のように 牽引フックカバー をリヤバンパースポイラー にクリップA で取付ける。
 (左右各1箇所)

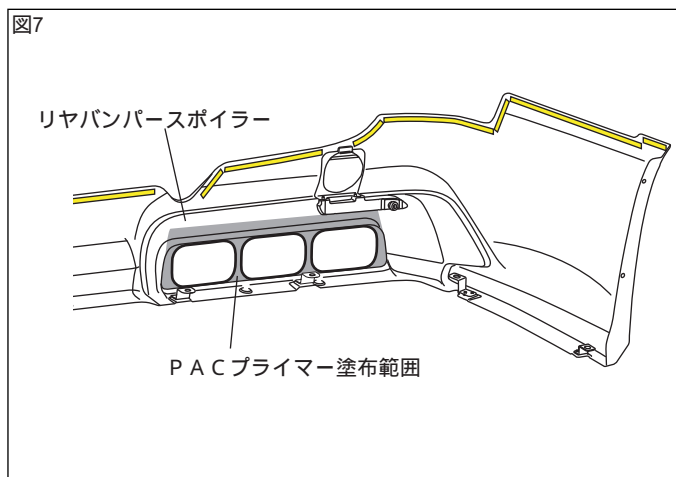


ガーニッシュの取付け

1. ガーニッシュ の両面テープの離型紙を図6のように約30mm剥がし、マスキングテープ等で裏側に貼付ける。
 (左右各3箇所)

2. 図6のようにガーニッシュ 中央2箇所の両面テープの離型紙をすべて剥がす。
 (左右各2箇所)

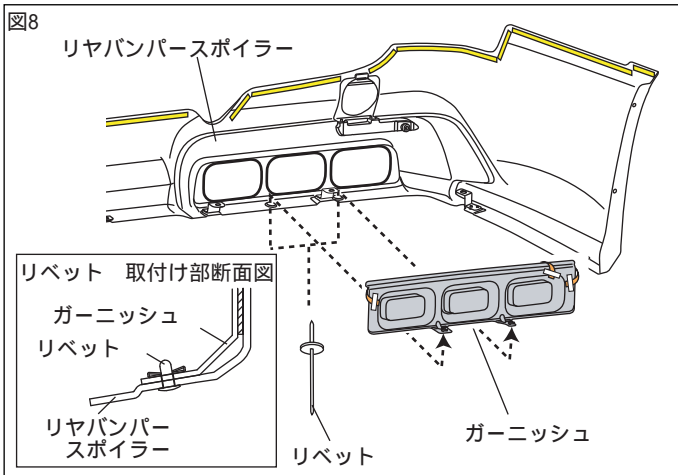
△注意：離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。



3. 図7のようにリヤバンパースポイラー の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。
 (左右各2箇所)

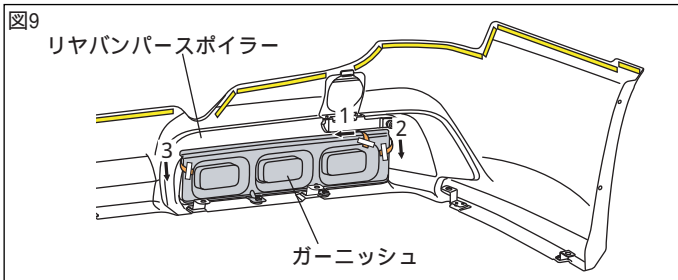
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



5. 図8のようにガーニッシュ をリヤバンパースポイラー にリベット で取付ける。
(左右各2箇所)

△注意：リベット を固定する方向を間違えますと正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



6. 図9の番号順にガーニッシュ の離形紙を剥がしながら貼付け、圧着する。
{ 49 N (5 k g f) 以上 }

取付準備

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

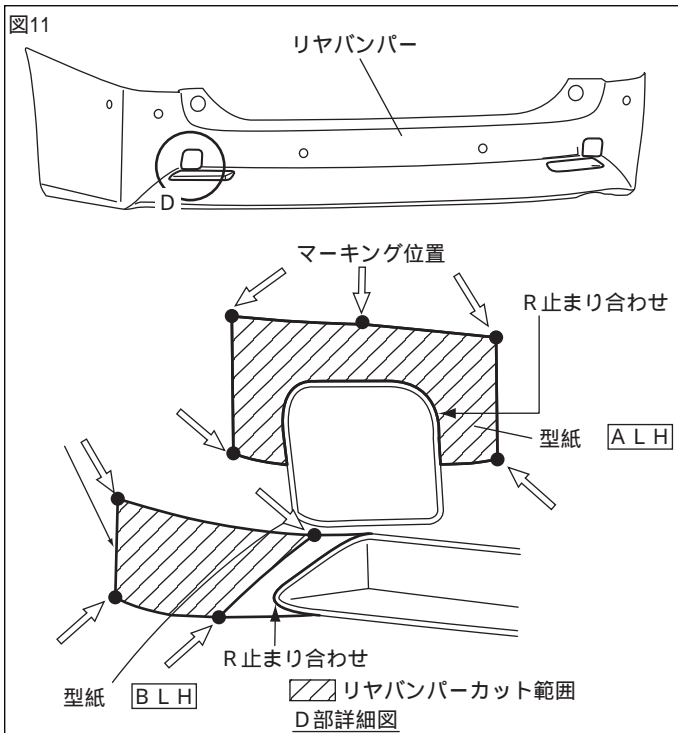
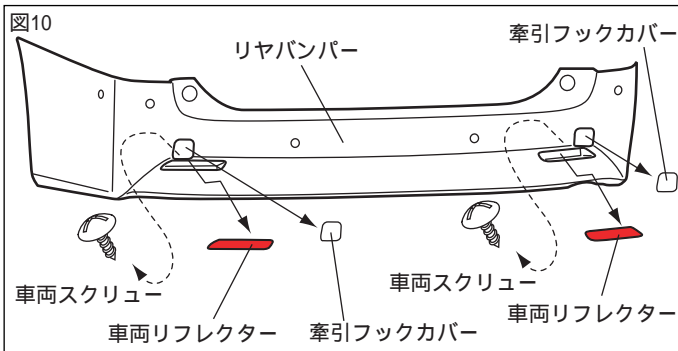
1. 該当車両の修理書を参照し、車両からリヤバンパーを取外し、車両リフレクター、車両スクリュー、牽引フックカバーを取外す。
(左右各1箇所)

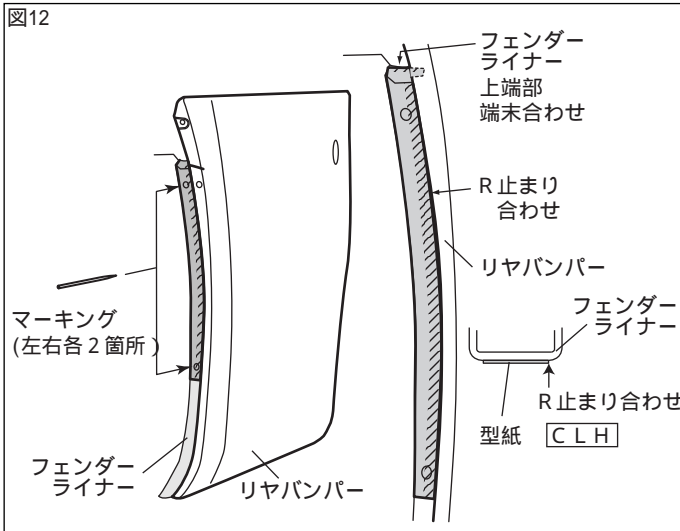
△注意：取外した車両リフレクター、車両スクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

2. 該当車両の修理書を参照して車両へリヤバンパーを復元する。
3. 型紙 [ALH]、[BLH]を図11のようにリヤバンパーに貼付けマーキングする。
(左右各9箇所)
4. 型紙 [ALH]を剥がし、マーキング位置を線で結ぶようにケガキを入れ、ケガキラインに合わせてエアソー等で切取ってから、切り口にできた断面のバリを取除く。
(左右各1箇所)
5. 型紙 [BLH]を剥がし、マーキング位置を線で結ぶようにケガキを入れ、ケガキラインに合わせてエアソー等で切取ってから、切り口にできた断面のバリを取除く。
(左右各1箇所)

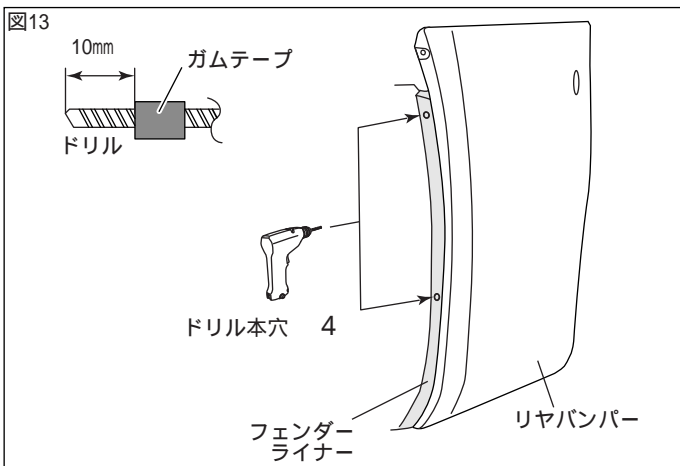
△注意：カットする際に、怪我に注意してください。
又、リヤバンパーへの傷つきに注意してください。

△注意：バリを取除く時には、カットラインが歪まないように注意してヤスリ等で取除いてください。





6. 型紙 [CLH]、[CRH]を図12のようにフェンダーライナーのホイールハウス部に貼付けマーキングする。
(左右各2箇所)

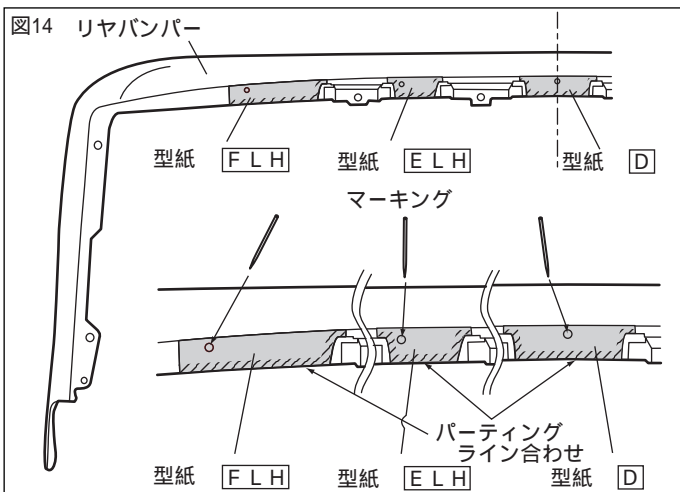


7. 図13のように 4のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、4のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に本穴をあけ、穴のバリを取除く。
(左右各2箇所)

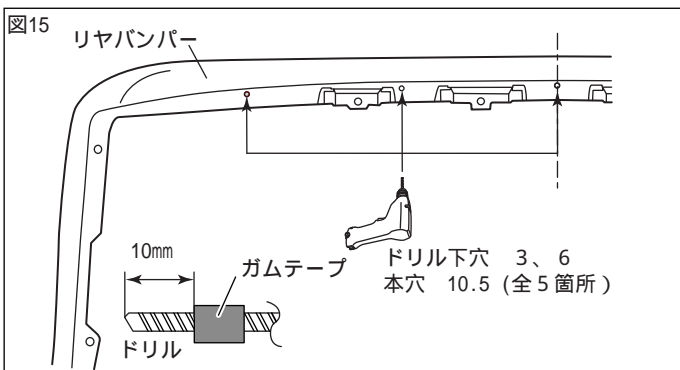
👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。



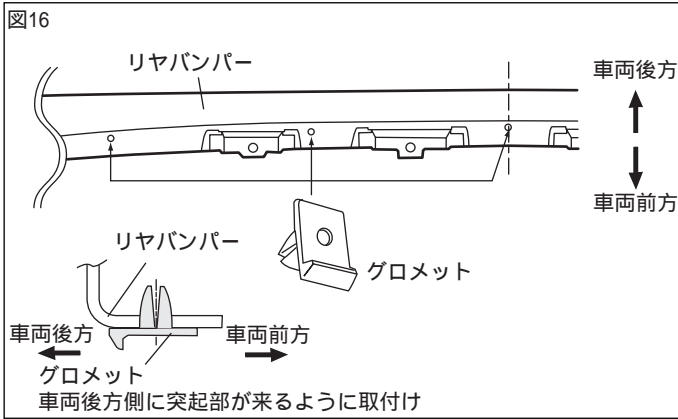
8. 型紙 [D]、[ERH]、[ELH]、[FRH]、[FLH]を図14のようにリヤバンパーの下面部に貼付けマーキングする。
(全5箇所)



9. 図15のように 3、6、10.5のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3、6のドリルを使用して下面部のマーキング位置に下穴をあける。
(全5箇所)

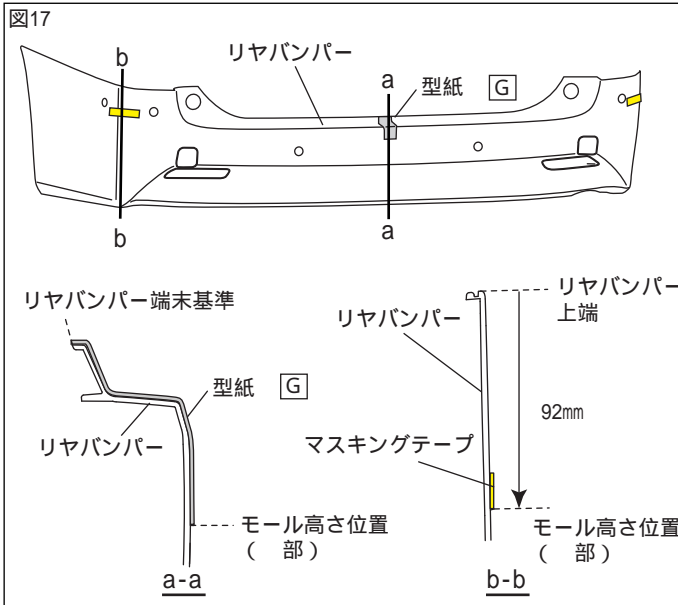
10. 図15のように下穴に 10.5のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取除く。
(全5箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。



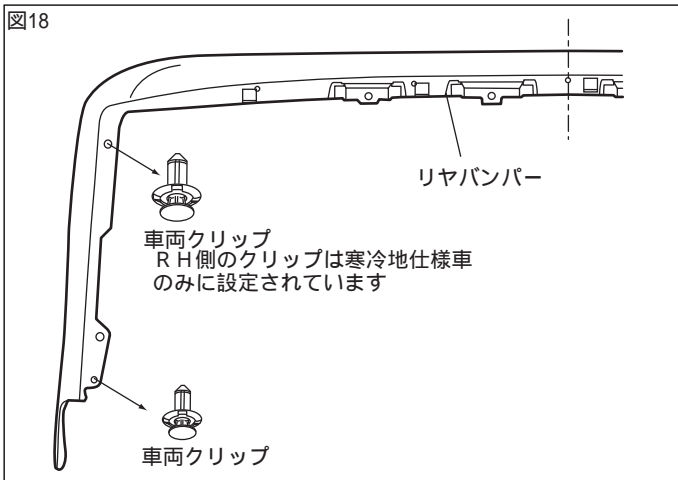
11. 図16のようにリアバンパー下面部の 10.5の穴にグロメット を差込む。(全 5箇所)

△注意：グロメット の差込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー が取付かなくなります。



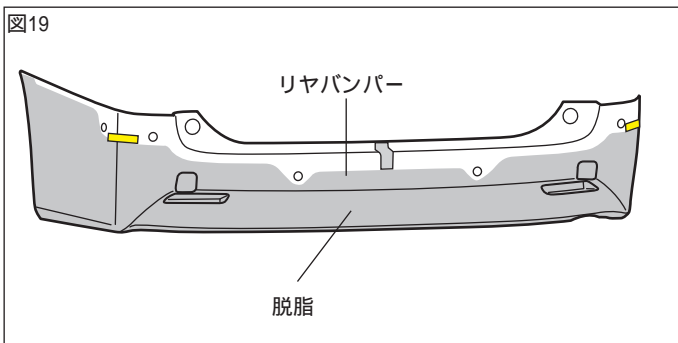
12. 型紙 **G**を図17のようにリアバンパーのセンターに端末基準で貼付ける。(部) (1箇所)

13. 図17のようにリアバンパーキャラクター部でリアバンパー上端から92mmの高さにマーキングする。(部) (左右各1箇所)



14. 図18のようにリアバンパー下面を固定している車両クリップを取外す。(左右各2箇所)

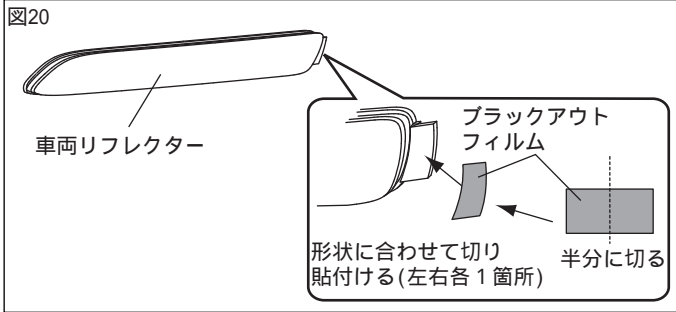
△注意：取外した車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。



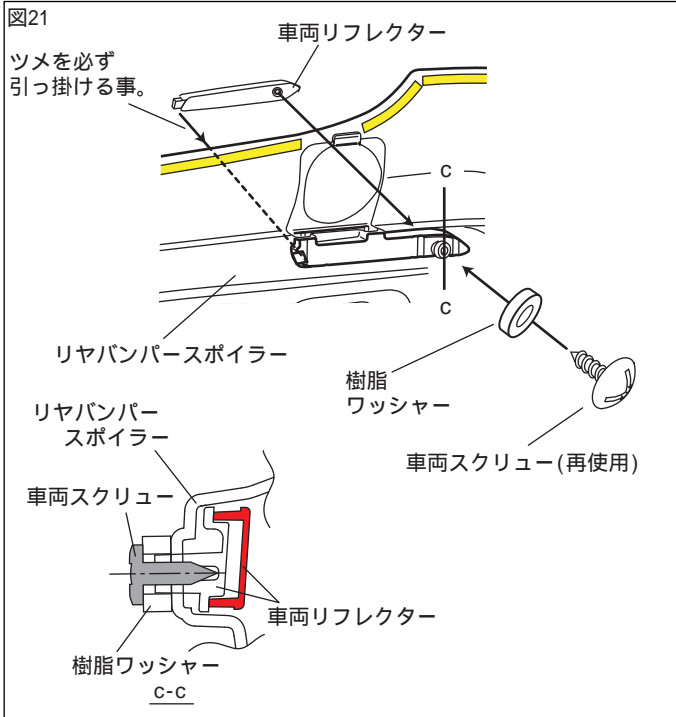
15. 図19のようにリアバンパーのリアバンパースポイラー 取付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方に拭いて脱脂する。

△警告：ポディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください

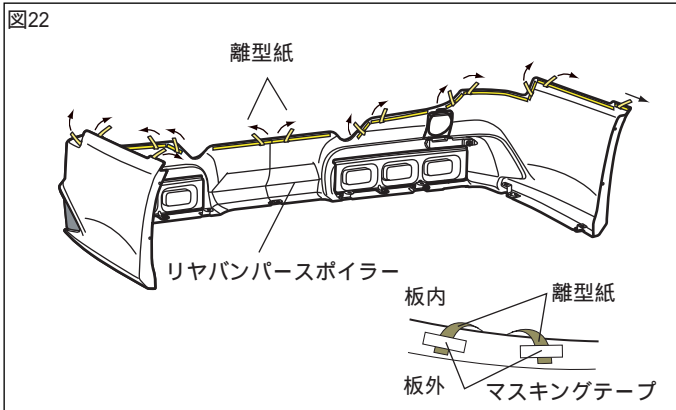
△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



16. 図20のように、車両リフレクター先端形状に切抜いたブラックアウトフィルムを車両リフレクター裏面に折返しがくるようにを貼付ける。(左右各1箇所)

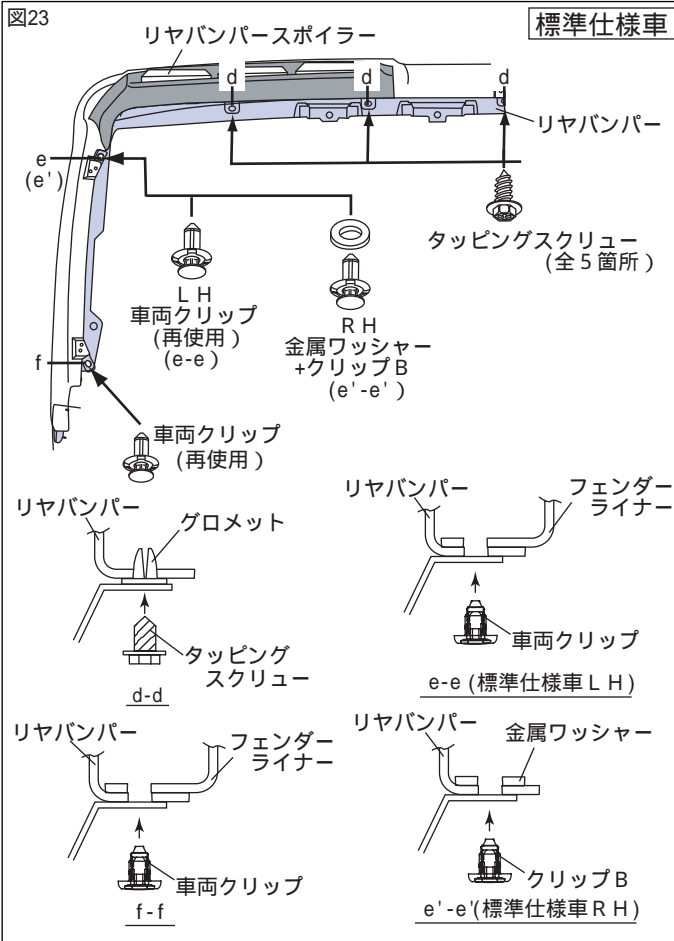


17. 図21のようにリアバンパースポイラーのリフレクター取付け部に、樹脂ワッシャーを使い、車両リフレクターを車両スクリューで取付ける。(左右各1箇所)



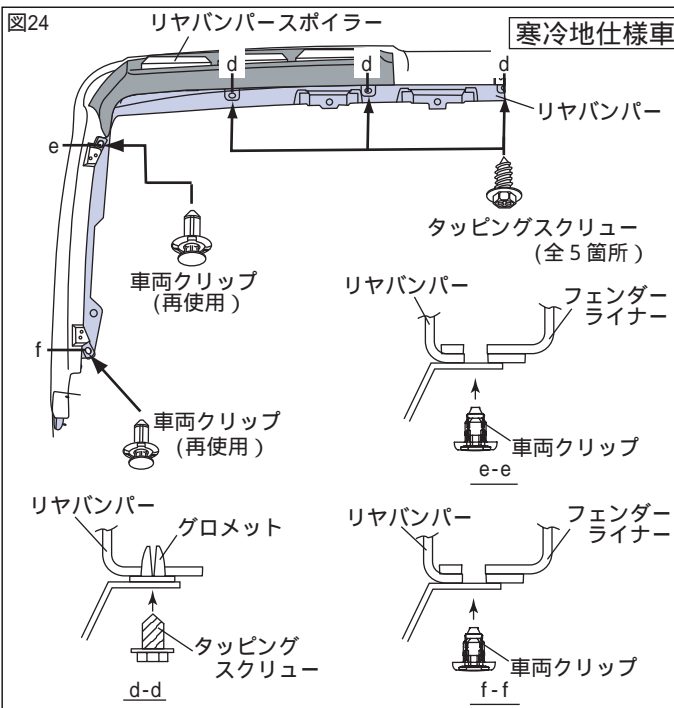
18. リアバンパースポイラーの両面テープの離型紙を、図22のように中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各8箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。



取付け要領

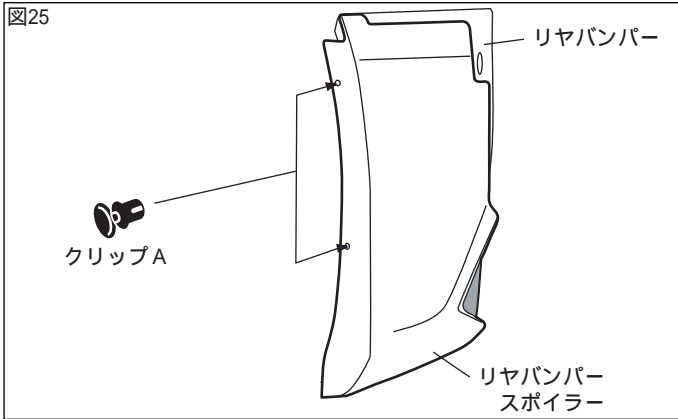
1. 図23のようにリヤバンパースポイラー をリヤバンパーにかぶせ、タッピングスクリュー で仮締めする。(全5箇所)
2. 標準仕様車の右側の固定は、図23のように e' - e'断面部をクリップB ・金属ワッシャー で固定し、f - f断面部を車両クリップで固定する。(各1箇所)
3. 標準仕様車の左側の固定は、図23のように e - e、f - f断面部を車両クリップで固定する。(各1箇所)



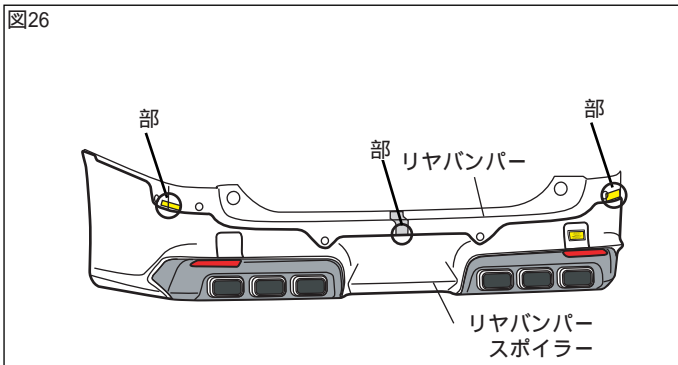
4. 寒冷地仕様車の固定は、図24のように e - e、f - f断面部を車両クリップで固定する。(左右各2箇所)

△ 注意：寒冷地仕様車の場合 e - e断面部の取付けは必ず、車両クリップを再使用してください。

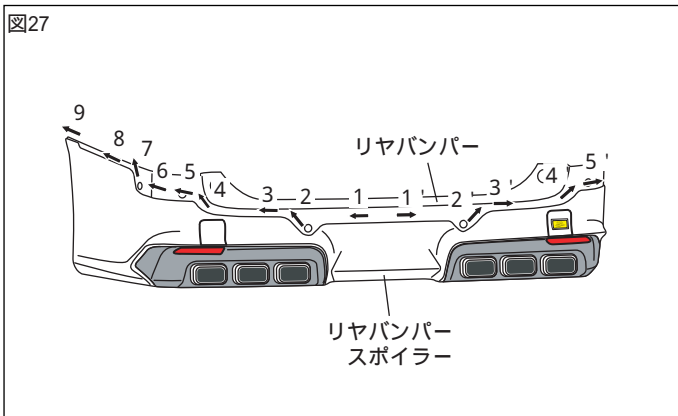
△ 注意：寒冷地仕様車の場合、クリップBと金属ワッシャーは使用しません。



4. 図25のようにホイールハウス部をクリップAで固定する。(左右各2箇所)



5. 図26のように、部のマーキング高さ位置にリアバンパー スポイラー を合わせる。(全3箇所)



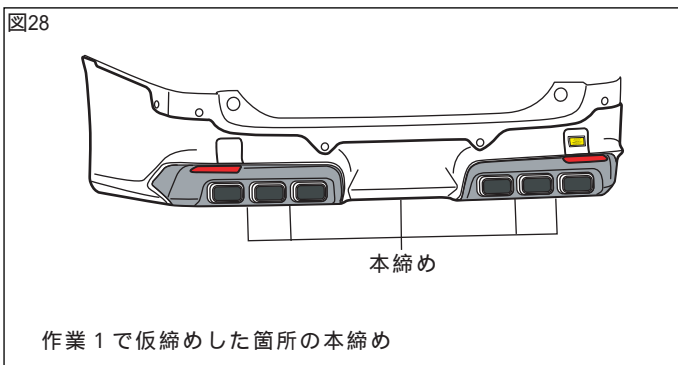
6. 左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙(18箇所)を図27の番号順に剥がしながら貼付け、圧着する。
{ 49N(5kgf)以上 }

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び貼付け部をドライヤー等で40 程度に暖めてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



7. 図23で仮締めしておいた下面のタッピングスクュー を本締めする。(全5箇所)

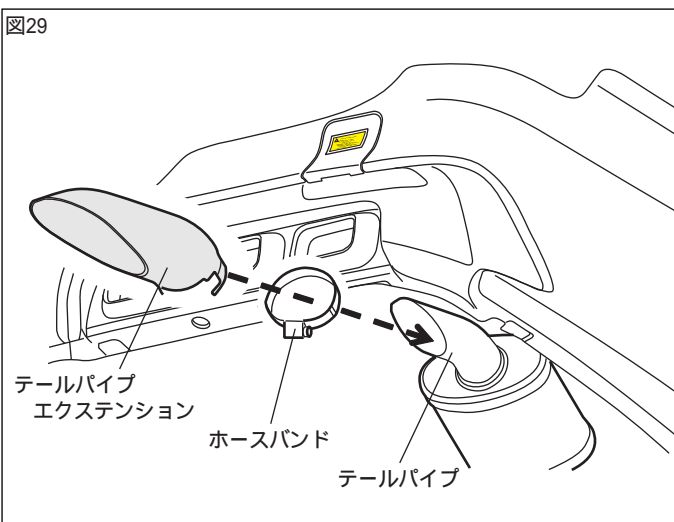
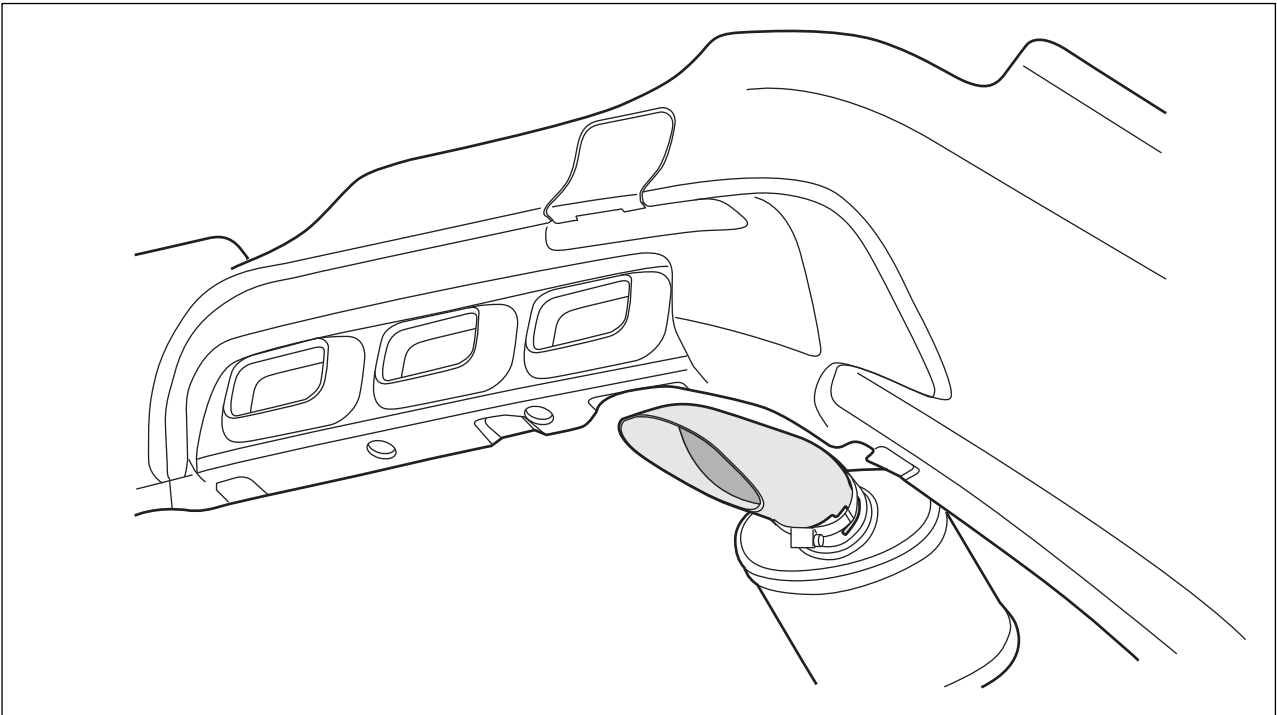
取付完了後の点検・注意事項

1. リアバンパー スポイラー、及びリアバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リアバンパー スポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。




リヤバンパースポイラーに同梱のテールパイプエクステンションは必ず装着してください。
未装着の場合、リヤバンパースポイラーが排気ガスの熱により変形する恐れがあります。

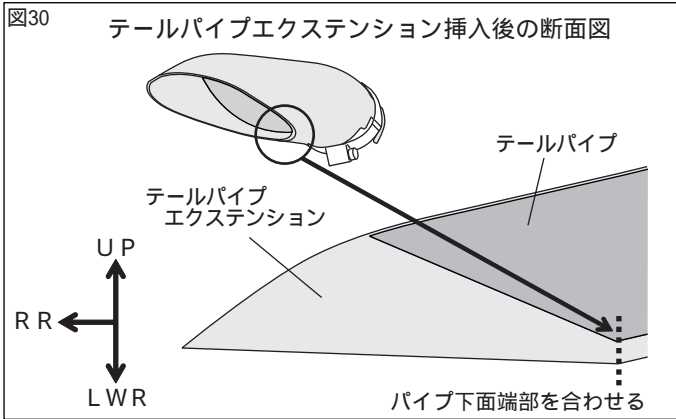
取付イメージ図



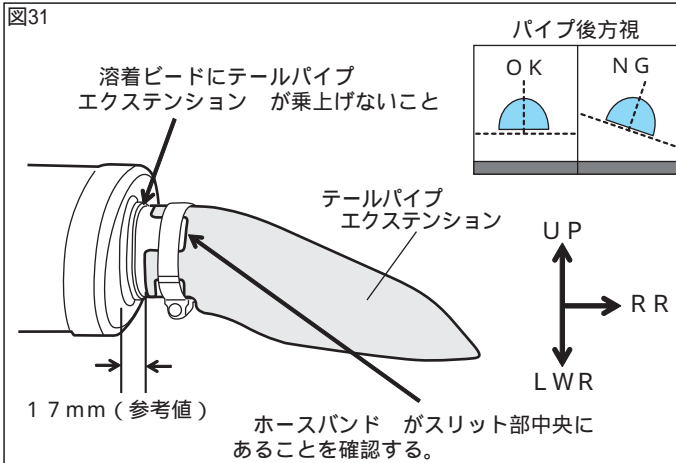
テールパイプエクステンションの取付け

1. 図29の様にテールパイプエクステンションにホースバンドの締付ボルトを車両外側になる様に合わせて、テールパイプに挿入する。

 **アドバイス**：テールパイプエクステンションをテールパイプへ挿入する際は、パイプ出口を車両内側に90°向けて挿入して、正位置に回しながら組付けてください。

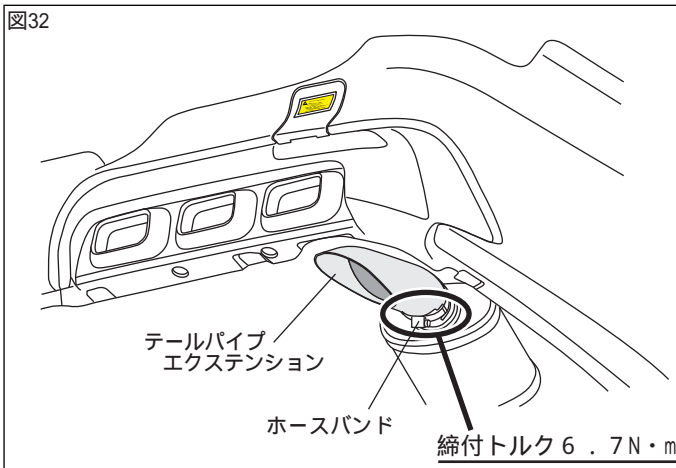


2. 図30のようにテールパイプエクステンションとテールパイプの下面端部を合わせてホースバンドを仮締めする。(1箇所)



3. 図31のようにテールパイプエクステンションの開口部が地面と水平になるように調整し、溶接ビードにパイプ端部が乗上げていないことを確認する。

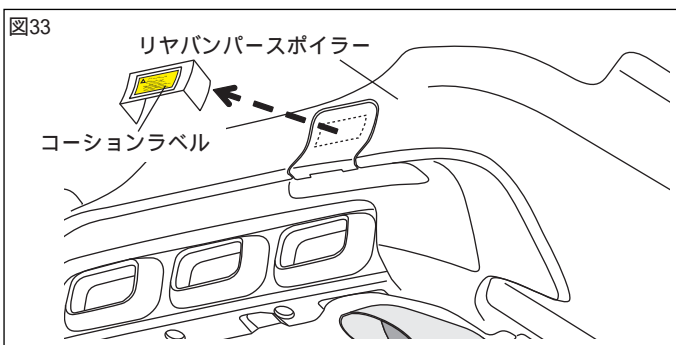
⚠注意：ホースバンドがテールパイプエクステンションのスリット部中央にあることを確認してください。



4. テールパイプエクステンションが動かないように保持しながらホースバンドを本締めする。{ 締め付けトルク 6.7 N・m }

⚠警告：再度、溶接ビードにパイプ端部が乗上げていないこと確認してください。溶接ビードに乗上げたまま、締め付けを行うと緩みが発生して脱落する恐れがあります。

👉アドバイス：本締め後、テールパイプエクステンションを回転方向及び前後方向に力を掛けて動かないことを確認してください。



5. テールパイプエクステンション取付け後、リアバンパースポイラーRH側の牽引フックカバーを外し、コーションラベルを剥がす。(1箇所)

6. コーションラベル剥がし後、リアバンパースポイラーRH側に牽引フックカバーを戻す。(1箇所)

取付け作業後の確認

1. 車両の取付け後、3～5 Km 程度の通常走行を行いホースバンドにゆるみが無いか確認してください。
2. 定期的にホースバンドにゆるみが無いか、運行前点検をしてください